

平成30年 第3回臨時会 (会期：5月16日)

地方消費税交付金、国庫支出金などの増額を見込み、山の遊
び館建築工事費、世代間交流対策基金への積立などの増減額を
措置するため補正しようとするもの。

一般会計 5420万円 追加

歳入

地方譲与税	9万1千円
利子割交付金	2万2千円
配当割交付金	△3万8千円
株式等譲渡所得割交付金	△4万7千円
地方消費税交付金	259万9千円
地方交付税	9283万9千円
国庫支出金	△69万9千円
県支出金	△291万9千円
繰入金	△3788万円
諸収入	23万2千円

歳出

総務費	5000万円
衛生費	76万4千円
予備費	343万6千円

繰越明許費補正

農林水産業費	189万円
・平成29年度七ヶ宿3期地区圃場整備促進計画作成委託業務の増額を措置。	

合計14件、6億4641万5千円は
次年度に繰越をし、それぞれ事業を執行する。

繰越明許費
6億4641万5千円

問 菅原研治 議員

繰越の額、件数については
多いかと感じるが、今後予定
どおり進められるのか。

答 小関幸一 町長

現在は実現に向けて予定ど
おり着実に実施している。

七ヶ宿町税条例等
の一部改正

問 菅原研治 議員

文言について、排除対象配
偶者から同一生計配偶者と
なったが、その意味の違いは。

答 町民税務課長

今までの『一人への排除』
という意味から、『家族を含
めた排除』へ変更したもの。

契約の目的：賑わい拠点施設便利屋商店建築工事（その2）

契約の方法：指名競争入札

契約金額：6966万円

契約の相手：宮城県刈田郡七ヶ宿町字横川原2番地の10
ヤマザキ建設株式会社 七ヶ宿営業所

問 管原研治 議員

入札応札業者と落札率は。また、スタンドのタンクの容量、営業体制は。

答 ふるさと振興課長

業者は7社応札し、落札率は99%。タンクの容量は48キロリットル。営業体制・管理者については現在協議をしている。

問 村上満 議員

地域の方々に還元されるような運営方法をどのように考えているのか。現在設置されている老朽化したガソリンスタンドは今後どうするのか。

答 ふるさと振興課長

公設民営となるので住民、事業者にとって安全、安心感のある経営をしていこうと考えている。既存の施設については適当な時期に撤去をしたいと考えているが、現在検討中。

問 吉野一夫 議員

営業について行政側の強制的な介入や改善命令など、どの程度まで可能なのか。

答 小関幸一 町長

管理者は町に提案書を出し管理するという内容になっている。その提案に違反することがある場合は町として改善命令を出したい。



▲ガソリンスタンドイメージ図

【賑わい拠点施設】（愛称：なないろひろば）

- 生活利便性の向上、賑わいの創出、移住促進等を目的に町が関地内に整備を進めているエリアのこと。
- 平成29年4月にはファミリーマート+COOP七ヶ宿店がオープンし、今春には多目的交流棟（こ'らっしえ）がオープンした。今後は入浴施設及びガソリンスタンドの建設が予定されている。